

血液免疫／腎透析研修プログラム

到達一般目標

1. 的確な診断に至る検査計画の立案、実行
2. 診断に基づく予後判断とEBMに則った治療法の選択
3. 以上の過程における医療チーム、患者家族との的確なコミュニケーション
ならびにインフォームドコンセントの実施

I) 血液内科 研修内容に基づく経験目標

検査：血算についての理解、その他免疫特殊検査についての理解と適時指示。
骨髄穿刺の実施（鏡検、表面抗原解析、遺伝子を含む内容の理解）。
治療法：抗腫瘍薬の計画的投与とその後の管理。（中心静脈確保実施を含む）
幹細胞移植、無菌管理（感染症予防、治療を含む）、免疫抑制療法
につき指導医の下で指示が出来る。

検査室において実習：1) 塗末標本の作製と検鏡
2) 輸血クロスマッチの実施

教育体制

具体的な症例を担当し疾患を通じて病態を理解するとともに、上記経験目標を達成する。

- 具体的疾患
1. 貧血（鉄欠乏性、溶血性、不応性）
 2. 白血病（急性）
 3. 悪性リンパ腫、多発骨髄腫
 4. 紫斑病、DIC
 5. 膠原病、リウマチ性疾患

指導体制

指導責任者 内科部長、5階西病棟部長、輸血部長、臨床研修プログラム責任者
足立 陽子（平成4年卒）

（総合内科専門医、血液学会指導医・評議員、臨床腫瘍
学会暫定指導医、癌学会暫定指導医、ICD認定医）

施設認定：日本血液学会教育認定施設

その他

カンファレンス：水曜午前7時45分～8時15分

(5階西病棟カンファレンスルーム)

各種学会、研究会の参加・発表（近畿血液学地方会、県内研究会、内科学会近畿地方会）

II) 腎臓内科 研修内容に基づく経験目標

検査：腹部エコーについては全科で行うが腎エコーについては特に深める。

腎生検の適応と検査法を理解し、指導医の助手として実施する。

治療法：血液浄化療法（血液透析、持続的血液濾過、血漿交換）について理解し的確な指示が出来る。

透析を行うための穿刺実施、その後の血流確保への指示、施行。

ブラッドアクセスの造設

カテーテル挿入の実施、内シャント造設を指導医と共に実施。

腹膜透析

カテーテル挿入術を指導医と共に実施、感染症や合併症の対処。

以上の管理、薬物療法、患者教育のディレクターとなる。

腎炎ネフローゼの患者に対し免疫抑制療法を副作用も熟知の上実施。

教育体制

具体的な症例を担当し管理を施行し手技を会得する。

具体的疾患 1. 腎不全（急性、慢性）

2. 原発性糸球体疾患（慢性腎炎、ネフローゼ症候群）

外来透析の管理に参加する

内シャントの穿刺、投薬。

木曜日のPD外来

指導体制

指導責任者 内科部長、5階西病棟部長、透析室室長、臨床研修プログラム責任者

足立 陽子（平成4年卒）

（総合内科専門医、透析学会指導医、透析医会幹事）

認定施設 日本透析医学会教育認定施設

その他

カンファレンス：HD 毎朝午前8時～

透析室

金曜午前7時50分～8時40分 7F

P D 木曜 外来終了後 透析室食堂等
各種学会、研究会の参加（透析学会、県内研究会）

Ⅲ) タイムスケジュール

	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜
			カンファ 症例検討会		カンファ
午前	HD／病棟	同 (処置)	同 (手術) (処置)	同 P D 外来	同
午後	HD／病棟	同 (手術)	同 (手術)	同 (P D 外来) (手術) カンファ 内科医局会	同 (手術)

H D : 8 : 15 ~ 9 : 30、12 : 00 ~ 1 : 30

内シャント穿刺、HD管理、処方、研修

病棟番 : 5 西における点滴業務、受け持ち患者の抗癌剤調整（看護業務実習）
他処方などの病棟番業務

但しカンファレンス、手術はこれらを優先させる。

受け持ち患者の対応や処置、検査などに関しては指導医の指示によりこれを優先する。